

リンゴCA貯蔵の適正ガス濃度

研究のねらい

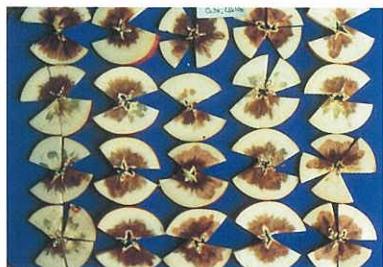
CA貯蔵 (Controlled Atmosphere Storage) が、大規模商業ベースで東北各県に導入されたのは昭和39年からであるが、すべてが全く外国の模倣であったため、障害発生等トラブルが続出し、数年と利用されず機能が停止してしまった。そこで、CA貯蔵管理の根幹をなす適正ガス濃度を決定するため、酸素及び炭酸ガス濃度の影響を解明し、本県リンゴの品種、素質に適応した適正ガス濃度を求める。

研究の成果

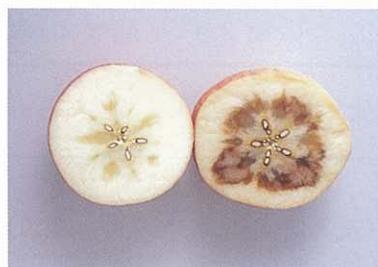
酸素濃度を下げるとリンゴの呼吸量が抑制され、低酸素濃度ほど、鮮度保持効果、貯蔵やけの発生抑制効果が高い。低酸素濃度障害としては発酵があり、1.5%でアルコール臭を帯びる。また、稀に果皮が黒紫色に変色することもある。CA期間中酸素を一定濃度に保つ場合は、1.5%が限界である。

炭酸ガス濃度がリンゴに及ぼす影響は酸素より複雑であり、CA貯蔵障害発生の殆どに炭酸ガス濃度が関与している。同じ品種の果実でも、熟度、大きさ、細胞組織などに違いがあるため、一様に障害が発生するものではない。障害の症状は、果皮では暗褐色のやけ、果実内部では健全部と被害部の境界が明瞭な褐変、果心部の褐変、空洞化、が典型的なものである。境界不明瞭なゴム類似症状もあるが、この場合は低温の影響もある。低温、低酸素、高炭酸ガスの相乗効果で障害発生率が高まる。

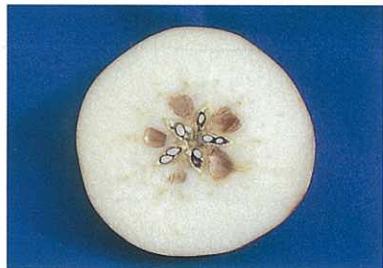
ガス濃度の管理は、酸素濃度1.8~2.5%、炭酸ガス濃度1.5~2.5%の範囲とし、品種、生育年のリンゴの素質、庫内の濃度差、ガス分析計の精度などを考慮して決定する。



果肉部に発生する
炭酸ガス障害（無袋ふじ）



同左（有袋ふじ）



果心部に発生する
炭酸ガス障害（無袋ふじ）



果皮に発生する
炭酸ガス障害（有袋ふじ）

主要な試験データ

第1表 O_2 濃度と貯蔵やけの発生

| O_2 % | 王林(無袋) | | | ふじ(無袋) | | |
|---------|--------|---------|--------|--------|-------|-------|
| | 1985 | 1986 | 1987 | 1985 | 1986 | 1987 |
| 1.5 | 0 0* | 0 0* | 0 40* | 0 0* | 0 0* | 0 0* |
| 2.0 | - - | 0 18 | 0 70 | - - | 2 2 | 3 8 |
| 2.5 | 0 59 | 9 59 | 0 93 | 0 0 | 2 40 | 5 4 |
| 3.0 | - - | 9 64 | 7 100 | - - | 0 28 | 8 8 |
| 3.5 | 5 94 | - - | - - | 0 0 | - - | - - |
| 21(air) | 83 100 | 100 100 | 89 100 | 0 3 | 72 88 | 28 24 |

注：1. CO_2 は 1.8~2%、貯蔵期間は 11/20~25から翌年 5/19~26。
2. *の列は 15°Cで 6~7日放置後に調査

第2表 ふじ(無袋)の CO_2 濃度と障害発生及び果実品質 (1982)

| 収穫日 | 11/10 | | | | 11/15 | | | | |
|------------|----------|--------|------|------|-------|--------|------|------|----|
| | CO_2 % | 0(air) | 1 | 2 | 3 | 0(air) | 1 | 2 | 3 |
| 内部褐変 % | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 27 |
| 硬度 lbs | 12.9 | 14.0 | 13.9 | 13.9 | 12.1 | 13.6 | 13.5 | 13.6 | |
| 酸度 g/100ml | 0.21 | 0.34 | 0.31 | 0.33 | 0.20 | 0.30 | 0.31 | 0.32 | |
| 蜜入り果 % | 13 | 3 | 20 | 33 | 23 | 42 | 55 | 52 | |
| 食味 | 3.2 | 4.3 | 4.2 | 3.9 | 2.8 | 4.2 | 3.8 | 3.5 | |

注：1. O_2 は 2.5%、期間は 11/18~翌年4/11。
2. 食味は最も良好を 5、非常に劣るを 1とした。

第3表 ふじの O_2 濃度と果実品質

| 収穫日 | 無袋果 | | | | | 有袋果 | | | | |
|------------|---------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|
| | O_2 % | 1.0 | 1.5 | 2.5 | 3.5 | 21(air) | 1.0 | 1.5 | 2.5 | 3.5 |
| 硬度 lbs | 15.5 | 14.9 | 14.2 | 14.4 | 13.7 | 15.0 | 15.0 | 14.6 | 14.7 | 13.5 |
| 酸度 g/100ml | 0.31 | 0.30 | 0.26 | 0.26 | 0.16 | 0.33 | 0.31 | 0.29 | 0.27 | 0.17 |
| 食味 | 3.9* | 4.0* | 3.9 | 3.9 | 3.3 | 4.0* | 4.0 | 4.0 | 3.7 | 2.9 |

注：1. CO_2 は 2.0%、期間は 1985.11/22~1986.5/26。
2. 食味は最も良好を 5、非常に劣るを 1とした。*アルコール臭

発表資料

- 工藤亞義ら (1981). リンゴのCA貯蔵に関する研究 (第1報). スターキングテリシャスに及ぼす炭酸ガス、酸素濃度の影響. 青森りんご試報 19: 41-56.
- 工藤亞義ら (1985). リンゴのCA貯蔵 (第3報) ふじの適正 CO_2 濃度. 園学東北要旨: 61-62.
- 工藤亞義ら (1989). リンゴのCA貯蔵 (第4報) 貯蔵障害、果実品質に及ぼす低 O_2 濃度の影響. 園学東北要旨: 49-50.
- 栽培部 (1985). りんごのCA貯蔵における適正炭酸ガス濃度. 昭和61年度指導奨励事項: 82-83.
- 栽培部 (1990). りんごのCA貯蔵における酸素濃度の管理. 平成2年度指導奨励事項・指導参考資料: 136-137.